

上越市議会議員 宮崎朋子

— ミヤザキトモコ ギカイツウシン —

議会通信

◆6月会議

*今、必要なことのために！補正予算他

◆市民アンケートの結果をうけて

◆議会人事決まる！

◆宮崎ともこ 活動後半の意気込み！

◆次のための声を考える！

◆地域の今とこれから

*上越地域の熊出没とその対策

◆議員活動奮闘記

～現場立ち会いは宝の山～



Vol.23

発行月 2026年 8月

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色
承和色（そがいろ）。平安時代、宮中で
好まれた菊の花の色。

持続可能な農業・
インフラを考えます！

それぞれの世代の
声を市政に届けます！

所属

- 会派 つなぐ
- 農政建設常任委員会
- 若者・子育て世代支援特別委員会副委員長
- 上越市監査委員
- 上越市都市計画審議会委員
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟副会長
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 防災士議連
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

〒943-0231

新潟県上越市三和区鴨井471

携帯 090-3545-6087

✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp

FAX 025-333-0424

YouTube
B面ともこ配信中！

パソコン、携帯、スマホから
是非ご覧ください。



後援会HP <https://miyazakitomoko.jp/>

～現場立ち会いは宝の山～

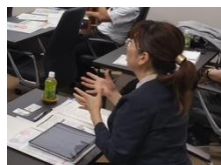
宮崎朋子 議員活動 奮闘記

昨今は、AIに聞けば数秒で文字から写真まで出る時代だけど、私が議員活動で一番好きなのは現場立ち会い！
「まずは現場でみんなて話しましょう！」と。職員の皆様、いつもありがとうございます。そよふく風の中で聞く地域の声は、「これってここだけの課題じゃないよな～」そう気付かされることも多々あります。点を線にして面になる。毎回そんな気持ちで現場へ向かうワタシなのであります。



活動記録（4/11～7/30）

- 市内行事・セミナー等参加（さんわ桜の陣／三和区アクションプラン会議／上越市消防団三和方面隊連合演習／上越市防災士会スキルアップ研修会／新潟県バイアスロン連盟／三和区防災リーダー研修／ドローン事業者内覧会 他）
- 市民要望の調査、立会等（空き家管理について／市民活動団体の市長視察／防災減災対策／公共施設の維持管理／道路除草要望／公共施設のトイレ整備／中小企業におけるナフサの影響と行政への申し入れ／道路修繕要望 他）
- 要望会（桑曽根川・錦川／県道新井柿崎線）
- 調査研究（今冬の大雪災害の検証と対応／イノシシの箱罠設置見学／上越地域における熊被害対策／二地域居住等の促進等）
- 代表者会議●議会運営委員会●議会改革推進特別委員会
- 特別委員会会議（災害／若者・子育て世代支援）
- 議員勉強会（公共交通／部落差別問題研修会）（持続可能な上越市と診断に基づく地域政策形成）●上越三市議会議員合同研修会●政策形成研究会（2回）
- 会派勉強会（当市の漁業・林業の課題他）
- 保倉川放水路整備促進議員連盟／越佐小直江津航路振興議員連盟／日韓親善上越市議員連盟／新井柿崎線整備促進議員連盟
- 農政建設常任委員会視察研修（7月14日）
- 16日／彦根市空き家対策・豊田市水道管劣化予測診断ツール・安城市水田貯留事業）
- 広報公聴委員会●厚生常任委員会●臨時議会（5月19日）
- 6月会議（6月10日～24日）●農政建設常任委員会審査個人議会報告会（3ヶ所）●議会通信発刊（5月）
- 上越市監査委員会（5回）



空き家対策を視察（彦根市）

● 令和8年9月会議の予定
9月3日（木）～9月30日（水）
議会傍聴に是非お越しください！

地域の今とこれから

◆上越地域の熊出没とその対策

上越市における熊目撃情報は（令和8年4月～7月21日現在）は77件。これは、昨年の同時期（42件）と比べると実に倍近くになっています。

市民の方からは、毎回出動する市の職員や猟友会のご苦勞も大変という声も聞かれるようになりました。目撃情報はいつ入るかわかりません。私も以前その体制について一般質問をいたしました。市では今年度から、エリアとチーム制にして一部の職員だけに負担がかからないような対策がなされています。

今年の特徴は、人の居住区近くで目撃されていることです。6月にツキノワグマの生態や対策についての講演会（妙高市）がありました。山のブナやドングリは、食べ尽くされないように自ら豊作不作を繰り返す話は興味深いものでした。

そして、すでに人間の近くに食べ物があることを学習してしまった熊。その要因は、過疎化で耕作放棄地や管理できない果樹など、人の目が行き届かないこともあげられます。

防衛グッズや捕獲機材の開発も進んでいます。普段の生活では、とにかく誘因物を放置しないこと。隠れる場所を作らないことが重要です。

とはいえ、地域では草刈りもままならない現状。猟友会の人出不足と危険度の課題。その体制づくりと財源確保に取り組んでまいります。



上越市内にも設置されている
ドラム缶式の熊用捕獲檻

6月会議

～市民の今、必要なことのために！～

■補正予算(補正・追加補正含)

566,818,000円

- ①克雪住宅・アンカー補助事業の拡充
*アンカー設置補助は、要援護世帯9/10で補助額は27万円まで。一般世帯1/2で補助額は15万円まで。
- ②上越妙高駅周辺の駐車場確保に向けた取り組み
- ③子育て世帯に対する生活支援給付事業（約3,000人が対象）
- ④事業継続支援緊急対策事業（上限100万円 1/2） 他

令和8年5月公表 ～市民の声アンケートの結果を受けて～

4年振りの市民の声アンケート。この度、市民のデジタルに関する調査結果も出ました。

- ◆毎日スマートフォンでインターネットを利用する割合は、20～50代で95%以上、80代では21,7%でした。
- ◆クレジットカードやコード決済をよく利用する市民は2割超。一方、60代以降の現金利用は8割前後。
- ◆SNSではLINE利用が多く、60代で76,9%、70代で54,4%。
▶行政サービスや観光情報などに関して「もっと情報を出してほしい」という市民意見もありました。こうした調査が、欲しい情報をいち早く欲しい人へ届けられるようなサービスに繋がることを期待します。

詳しくは、令和8年上越市市民の声アンケート報告書をご覧ください。

議会人事決まる！

5月19日の臨時議会にて、後半2年の議会人事が行われました。江口議長、小林副議長のもと、市民のために一丸となって取り組みます！

議会改革の成果

議会の政策力の強化の分野では、まだまだ全国146位。議会の本分である政策提言に取り組んでまいります。

議会改革度ランキング県内1位！
全国29位！（3年前は121位）

（地域経営のための議会改革度調査2025）

新たな挑戦！3つの特別委員会

特別委員会は、2つ以上の常任委員会にまたがる課題を、短期・中期的に調査研究していくものです。この度のテーマは、議員一人一人の危機感の表れ。しっかり取り組んでまいります！



- ①公共交通等検討特別委員会
- ②公共施設利活用推進特別委員会
- ③若者・子育て世代支援特別委員会

継続で取り組む

議員定数の検討

約8ヶ月をかけて全国のデータを収集分析し、人口/地勢/合併構造/行政規模等が議員定数検討に影響を及ぼすことがわかりました。しかしながら、議会の方向性を絞ることはできず、今後は、再度の議論、市民意見の集約等を経て、令和9年度中の結論を目指し取り組んでいきます。

詳しくは、上越市HPをどうぞ → <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎ともし 活動後半の意気込み

上越市監査委員を拝命いたしました。

上越市監査委員は、市議会より1名が推薦され、その任に就きます。誠に重責ではありますが、しっかりと全うしてまいります。
●監査委員の主な仕事は、市の全ての事業や運営が、法令や予算等に基づいて適正かつ、市民のために効果的に行われているかどうかを、主に財務を中心に監査いたします。



小菅市長より任命書を拝受いたしました。

会派つなぐ（会計）

4人で会派を立ち上げて2年が経ちました。これからも市民対話と議論のできる会派の一員として頑張ってまいります。

農政建設常任委員会

2回目の所属となります。市民要望も多く、農業・園芸などの農業政策全般、道路や河川等整備事業、除雪体制、空き家対策、ガス水道局に係る案件等について議論、提言してまいります。

若者・子育て世代支援特別委員会

若者世代の市外流出が多いことの課題解決や、より充実した子育て環境を目指し発足しました。現場の声をしっかりと聞き、政策に繋げてまいります。

上越市都市計画審議会委員

議員になる前に市民委員として参画していた委員会。まちの根幹を担う都市計画。あらたな視点でも考えてまいります。

次のための声を考える！

市民生活の向上を目指し、これからも事業の行方を注視してまいります。

1、上越地域医療センター病院はどうなる？

令和6年度の病床利用率は79,9%、入院患者数は1日平均157人。また、訪問看護利用者数も年間9,500人を超え、その需要は高まっています。しかしながら病院改築には経営改善が必須です。国の診療報酬改訂や経営努力もあり改善が見られます。7月22日の上越地域医療構想調整会議では、この病院の病床数も見直し（縮小）の方向とのこと。怪我や病気になった人々が慢性期、回復期を十分に過ごせる場所として、市は基本計画の見直しと早期改築を目指します。同時に、通院のための公共交通や通院困難地域への対策も必要と私は考えます。

2、地域独自の予算の見直し

合併以降、上越市は住民自治の先進地として全国から注目されてきました。地域活動支援事業も、地域独自の予算事業となって2年が経ちました。活動資金の少ない団体は手を上げにくいといった課題もあり、市では令和9年度分からの補助率や、申請期間の見直し、スタートアップに関わる補助金（活動や区域を限定しない等）も新設する方針です。今後は、息の長い活動や広域連携が期待されます。

3、公共施設のトイレ改修

当市の公共施設のトイレは575ヶ所。そのうち全てが洋式便器のところは全体の37,6%。（上越市公共建築物ユニバーサルデザイン指針では、男女それぞれのトイレに洋式便器を1器以上付けるとしている）市は今年度、市内公共施設のトイレの総点検を行い、まずは春日山周辺のトイレ、高田駅前公衆トイレなどを約1億円を投じて改修、洋式化等を行っています。配管などの老朽化も懸念される中、今後は計画的に進めていく必要があります。また、綺麗になったトイレを使い続けるための美化啓発も重要と考えます。



屋外のトイレも検証（三和区 水科古墳群）



施設利用者の心づかいが素敵（レインボーセンター内）

議会の様子はこちらから（本会議/委員会等） → <https://joetsu-city.stream.jfit.co.jp/>